



福山少年自然の家でいちばん人気の野外炊さん場は、「体育館裏炊さん場」です。体育館や管理研修棟から近く、キャンプ場にある野外炊さん場と比べて広いため大勢が一度に活動できること（収容人数160人）が人気の理由です。

老朽化に伴い、竈（かまど）や排水設備の劣化が進んでいたため、今年度は傷んだ耐火煉瓦の交換整備と排水設備の修繕工事を行いました。



竈の耐火煉瓦の整備

新たにブロックを敷き詰めて火床の水平を整えるとともに、割れたりひびが入ったりした耐火煉瓦を新しいものに交換しました。



排水設備の修繕工事

大雨の日に全ての洗い場で一斉に片付けを始めるとマンホールから排水が溢れ出すことがあったため、新たな排水管を敷設しました。



未着手：流し台の配置整備

どういう経緯でこのような配置になったのか建築当時の事情は不明ですが、柱が流し台のいくつかと干渉していて作業しにくい状態です。

この他にも体育館裏炊さん場には「屋根が狭いため、雨が降ると参加者の一部が濡れる」「雨が強くなると地面がべちゃべちゃになる」「屋根の柱が流し台のいくつかと干渉して作業しにくい」などの問題がありました。

残念ながら屋根そのものをやりかえるだけの予算はないので、その代わりに「全てのグループが屋根の範囲内に活動できるように、竈と流し台の配置を変更する工事」「活動中の安全と衛生を確保するため、床面を平坦性と排水性に優れたコンクリート基礎にやりかえる工事」で改善していきます。工事は新年度に間に合うように完了させる予定で計画中です。 所長 石川（キャンプネームは、ゴルゴ）